

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	木造構法小委員会	主 査 名：榑藤 智之 就任年月：2022 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (設計計画・構法計画運営委員会)	委員長名：清家 剛 主 査 名：小見 康夫
設 置 期 間	2022 年 4 月 ～ 2024 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	日本における木造建築は、過去から現在につながる歴史性はいままでもなく、現在では持続可能な社会を支えるエコロジカルな建築として再認識されており、今後の社会基盤を構成する重要な要素となっている。 本委員会では、このような木造建築を多角的に捉えて、在来木造、民家、中大規模木造を含めた総体の現状認識を行い、今後の方向性を見出してゆく。 初年度：(1) 海外の木質構法の普及状況・その背景、(2) 戦後の木質構法の変遷、(3) 民家・小屋および近代木造建築を対象とした近年の構法研究、の 3 点について情報収集や研究会を実施する。 2 年度：上記 (1) ～ (3) について、研究集会等を行い、対外的に情報を発信する。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：榑藤智之 (東京大学) 幹事：山畑信博 (東北芸術工科大学)、金子晋也 (札幌市立大学) 委員：青島啓太 (追手門学院大学)、大橋好光 (東京都市大学)、釜床美也子 (香川大学)、金善旭 (八戸工業高等専門学校)、後藤治 (工学院大学)、小見山陽介 (京都大学)、杉本健一 (森林総合研究所)、樋口貴彦 (職業能力開発総合大学)、堀江亨 (日本大学)、松本直之 (東北大学)、山田宮土理 (早稲田大学)、渡邊史郎 (建築研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2023 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	10 月 19 日 (青柳由佳)、12 月 4 日 (杉本健一)、3 月に予定 (榑藤智之) の 3 回、主に若手研究者からの話題提供を実施した。木造民家構法の地域性や解体実験、スウェーデンの木質化の現状など多様な話題を扱った。
委員会活動の問題点 ・課題	昨年度までの木造民家に加えて、海外の木質化の現状についても、話題提供を実施し、意見交換を行えた。より回数を重ねていくことが目標である。